

004 TICA

題名	作者	コメント	コメコメ
東京日記 卵一個ぶんの お祝い。(平凡社)	川上弘美	子供の学校の新聞案内をみて借りてきてもらったら、苦手なエッセイだった。	作者より、ツキコさんのが好きよ
チョコレート工場 の秘密(評論社)	ロアルド・ ダール	昔この人の『あなたに似た人』っていう本を、題名が好きで読んだけど内容は忘れた。	ほんとに児童書だった
わからなくなってきました(新潮文庫)	宮沢章夫	二冊目というせいか、この人の問題提起にも飽きた。でもぐだつとするマリファナ系よりしゃきつとさせるヘロイン系を好むのが日本人というのに納得した。	サンヨーネオアルカリ電池が一番もつんだと
麦の海に沈む果実 (講談社文庫)	恩田陸	三月以外にやってくる転入生は、学園を破滅に導くだろう。湿原に囲まれた全寮制学園。謎の失踪をとげる生徒たち。奇妙な学校行事と、図書館にあったはずの謎の本。——夜と昼をあやつり師が築く影絵のごとき大伽藍。 以上著者からの内容紹介でした。現実離れた設定と物足りない結末。	可もなく不可もなく
三島由紀夫 レター教室 (ちくま文庫)	三島由紀夫	5人の人物の手紙のやり取りだけで、交友関係がわかっていく。手紙を書くのもたまにはいいなあって思うけど、この本は別に参考にはならないよ。	三島由紀夫ってこういうのも書く人だったんだあ
片想い (文芸春秋)	東野圭吾	犯人探しではあるけれど、性同一障害の問題を軸にした友情物語。金八先生の鶴田直は手術をして男の子になるが、この話は戸籍まで交換してしまいそれまでの人生を捨てて別人で生きることを選ぶ人たちを描く。	片想いと言っても浜省とは関係ない